

奥日野の林業の現場から…日野町で椎茸栽培に挑戦の広瀬さんを訪ねる 一日南町とその近隣で、林業関連で活躍している方にお話を伺いますー



日南町のお隣、日野町にターンで移住をして、原木椎茸栽培をしている方がいます。
どんなきっかけで奥日野へ来られたのか、今感じていることは何なのか…
今回、フォレストアカデミー事務局員がお話を伺ってきました。

Q:こんにちは。お名前と、日野町に来られた経緯を教えてください。

A:広瀬俊介です。(財)鳥取県農業農村担い手育成機構の研修生として、2年前に日野町へやってきました。
大学ではキノコについて学び、大学院へと進み、卒業後は直売所で働きました。
椎茸を本格的に栽培したいという思いがあったところへ、大学の先輩で先に日野町で生活していた方に相談したところ、今の師匠を紹介してもらえました。

Q:今、やってる仕事を教えてください。

A:2年前に植菌した椎茸が、やっと今年から収穫できるようになりました。
椎茸が育つ頃は植菌と収穫の同時作業です。
現状、椎茸の収入だけでは苦しいので夜は根雨のレストランでアルバイトもしています。

Q:今後の目標を教えてください。

A:現在、2000本の原木で栽培していますが、これを5000本まで増やしたいと思っています。
一人では作業量的にかなり辛いので、一緒に椎茸栽培をしてくれるやる気のある仲間を探しています。
こっちは頑張って働いている人にはとても優しく、アドバイスもしてくれます。

Q:有難うございました！最後にPRを！

A:椎茸栽培は農水省の産業分類でも林業に入るそうです。
チェーンソーで格闘するモータースポーツのような楽しみもあります。
日野の椎茸を沢山の人が美味しく食べてもらえるようにしたいです。

日南町でも、椎茸栽培に取り組んでいる方がいます。地域の資源と気候を生かした産業新興に若い力が取り組んでいます。これからも応援していきたいと思います。